

世界史 地域別の縦断史（東アジア周辺・内陸アジア編） 確認問題集

全19問 / 解答・解説は後半

名前

記事「世界史 周辺地域史まとめ | 朝鮮・東南アジア・内陸アジアの流れ」を読んだあとに解く問題集です。答えを書いてから後半の解答・解説で確かめ、間違えた問題は解説にある記事の節を読み直してください。

第1部 一問一答

問いに当てはまる語句を答えなさい。

1 663年、百済の復興を助けようとした日本（倭）の軍が、唐・新羅の軍に敗れた戦いを何というか。

2 高句麗が滅びたあと、698年に大祚榮が中国東北地方に建て、唐の冊封を受けた国は何か。

3 モンゴルの侵入を退けることを願って、高麗の時代に版木を彫り直して作られた仏教経典の集成を何というか。

4 朝鮮王朝で、科挙を通じて官僚を出し、社会を動かした支配層を何というか。

5 1894年、東学を信仰する農民たちが起こし、日清戦争のきっかけとなった反乱を何というか。

6 唐の僧の義浄が、インドへの往復の途中に滞在したスマトラ島の国は何か。

7 ビルマ（ミャンマー）で11世紀におこり、上座部仏教を受け入れた王朝は何か。

8 19世紀、オランダがジャワで住民にコーヒーなどの輸出用の作物を作らせた制度を何というか。

9 ウイグルなどの遊牧国家が唐で行った、馬と絹を交換する交易を何というか。

10 936年に契丹（遼）が手に入れた、長城の南の農耕地帯を何というか。

第2部 正誤問題

次の文ア～エのうち、誤っているものを1つ選びなさい。

11 朝鮮の王朝について。

- ア 新羅は唐と結んで百済と高句麗を滅ぼした。
- イ 高麗は王建が建て、開城を都とした。
- ウ 朝鮮王朝は李成桂が建て、明の冊封を受けた。
- エ 訓民正音は高麗の時代に公布された。

12 東南アジアの王朝と宗教について。

- ア アンコール=ワットは、ヒンドゥー教の寺院として造られた。
- イ パガン朝は上座部仏教を受け入れた。
- ウ マジャパヒト王国はイスラーム教の王国である。
- エ マラッカ王国は15世紀にイスラーム教を受け入れた。

13 東南アジアの植民地化について。

- ア イギリスはビルマをインド帝国に併合した。
- イ フランスは1887年にフランス領インドシナ連邦を作った。
- ウ フィリピンは米西戦争の結果、フランスの植民地になった。
- エ タイは英仏の勢力の緩衝地帯となり、独立を保った。

14 北方の遊牧国家と中国王朝について。

- ア 匈奴の冒頓単于は、白登山の戦いで漢の高祖を破った。
- イ 東突厥は、唐に服属した。
- ウ 澶淵の盟は、宋と西夏の間で結ばれた。
- エ 土木の変で、オイラトのエセンが明の正統帝を捕らえた。

第3部 年代の並べ替え

次のア～エを、古いものから年代順に並べなさい。

15 朝鮮半島の出来事を年代順に並べなさい。

- ア 高麗が建国された。
- イ 楽浪郡が高句麗に滅ぼされた。
- ウ 朝鮮王朝が建国された。
- エ 新羅が半島の大部分を統一した。

16 東南アジアの出来事を年代順に並べなさい。

- ア スペインがマニラを建設した。
- イ ベトナムで李朝が成立した。
- ウ フランス領インドシナ連邦が成立した。
- エ ポルトガルがマラッカを占領した。

17 北方・内陸アジアの国が成立した順に並べなさい。

- ア ウイグル
- イ モンゴル帝国
- ウ 突厥
- エ ティムール朝

第4部 論述問題

次の問いに答えなさい。字数は目安です。

18 北方の遊牧国家と中国王朝の関係の移り変わりを、匈奴・ウイグル・契丹・清にふれながら150字程度で説明しなさい。

19 19世紀の東南アジアで、タイが独立を保つことができた理由を、周辺の植民地化の状況にふれながら120字程度で説明しなさい。

世界史 地域別の縦断史（東アジア周辺・内陸アジア編） 確認問題集 解答・解説

第1部 一問一答

1 白村江の戦い

この戦いのあと、新羅は668年に唐とともに高句麗を滅ぼし、さらに唐の勢力を退けて676年に半島の大部分を統一しました。

記事の該当箇所：地域ごとに詳しく見る／朝鮮（1）

2 渤海

渤海は926年に契丹に滅ぼされました。契丹と高麗の関係とあわせて整理しておきます。

記事の該当箇所：地域ごとに詳しく見る／朝鮮（1）

3 高麗版大蔵経

高麗の文化は、高麗版大蔵経・金属活字・高麗青磁の3つをセットで覚えます。朝鮮王朝の訓民正音と入れかえるひっかけに注意します。

記事の該当箇所：地域ごとに詳しく見る／朝鮮（2）

4 両班

朝鮮王朝は朱子学を国の学問としました。両班はその担い手となった支配層です。

記事の該当箇所：地域ごとに詳しく見る／朝鮮（2）

5 甲午農民戦争

日清戦争に勝った日本は、1895年の下関条約で清に朝鮮の独立を認めさせました。

記事の該当箇所：地域ごとに詳しく見る／朝鮮（3）

6 シュリーヴィジャヤ

パレンバンを中心にマラッカ海峡の交易を押さえ、大乘仏教がさかんでした。

記事の該当箇所：地域ごとに詳しく見る／東南アジア（1）

7 バガン朝

大乘仏教のシュリーヴィジャヤやシャイレンドラ朝との区別が正誤問題でよく問われます。

記事の該当箇所：地域ごとに詳しく見る／東南アジア（1）

8 強制栽培制度

オランダ領の中心となったのはジャワ島です。イギリス・フランス・アメリカの植民地と宗主国を取りちがえないようにします。

記事の該当箇所：地域ごとに詳しく見る／東南アジア（2）

9 絹馬貿易

ウイグルは安史の乱で唐に援軍を送りました。反乱軍を助けたのではない点に注意します。

記事の該当箇所：地域ごとに詳しく見る／内陸アジア（1）

10 燕雲十六州

契丹は、遊牧民は部族制、農耕民は州県制で治める二重の統治体制をとりました。

記事の該当箇所：地域ごとに詳しく見る／内陸アジア（2）

第2部 正誤問題

11 エ

訓民正音は、朝鮮王朝の世宗が1446年に公布しました。高麗の文化は高麗版大蔵経・金属活字・高麗青磁です。

記事の該当箇所：地域ごとに詳しく見る／朝鮮（2）、入試で狙われるポイント

12 ウ

マジャパヒトはジャワ島のヒンドゥー教の王国です。イスラーム教を受け入れて広める中心となったのはマラッカ王国です。

記事の該当箇所：地域ごとに詳しく見る／東南アジア（1）

13 ウ

フィリピンは1898年の米西戦争の結果、スペインからアメリカの手に渡りました。

記事の該当箇所：地域ごとに詳しく見る／東南アジア（2）

14 ウ

澶淵の盟（1004年）は宋と契丹（遼）の和約で、宋は毎年銀と絹を贈りました。

記事の該当箇所：地域ごとに詳しく見る／内陸アジア（2）、入試で狙われるポイント

第3部 年代の並べ替え

15 イ→エ→ア→ウ

楽浪郡の滅亡（313年）→新羅の統一（676年）→高麗の建国（918年）→朝鮮王朝の建国（1392年）の順です。

記事の該当箇所：まず全体像（年表）

16 イ→エ→ア→ウ

李朝の成立（1009年）→マラッカの占領（1511年）→マニラの建設（1571年）→インドシナ連邦（1887年）の順です。

記事の該当箇所：まず全体像（年表）

17 ウ→ア→イ→エ

突厥（552年）→ウイグル（744年）→モンゴル帝国（1206年）→ティムール朝（1370年）の順です。

記事の該当箇所：まず全体像（年表）

第4部 論述問題

- 18** 解答例：漢は白登山の戦いで匈奴に敗れて絹などを贈る和親策をとったが、武帝は攻撃に転じた。唐は安史の乱でウイグルの援軍を頼り、絹馬貿易を行った。宋は澶淵の盟で契丹に毎年銀と絹を贈った。清はジュンガルを滅ぼしてモンゴルや新疆を藩部とし、理藩院に管理させて遊牧勢力を帝国の中に組みこんだ。

採点のポイント：①匈奴と漢（白登山の戦い・和親策・武帝）、②ウイグルと唐（安史の乱・絹馬貿易）、③契丹と宋（澶淵の盟）、④清の藩部と理藩院、が入っているか。

記事の該当箇所：地域ごとに詳しく見る／内陸アジア、論述で使える要点

- 19** 解答例：19世紀、イギリスはビルマをインド帝国に併合してマレー半島にも進出し、フランスは清仏戦争後にベトナム・カンボジアをインドシナ連邦にまとめた。タイは西のイギリス領と東のフランス領にはさまれた緩衝地帯となり、ラーマ5世が近代化を進めたことで独立を保った。

採点のポイント：①イギリスの進出（ビルマ・マレー半島）、②フランスの進出（インドシナ連邦）、③緩衝地帯、④ラーマ5世の近代化、が入っているか。

記事の該当箇所：地域ごとに詳しく見る／東南アジア（2）、論述で使える要点